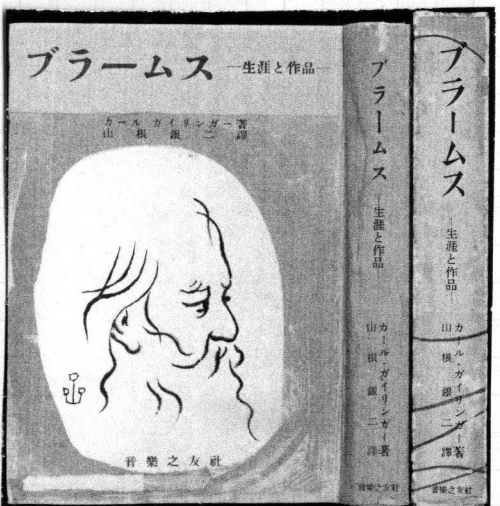


山根銀一 やまねぎんいち 音楽評論家。明治二十九年一月、二十七日東京生れ、昭和五十七年九月十四日歿（九〇六一八二）。昭和二年東京帝國大學文學部美術科卒。八年雜誌『音楽評論』を創刊、主筆。また新聞各紙の音楽評論を執筆。終戦直後、山田耕稼少将の戦時責任を追及して論争を惹起した。

譯書に、カール・ガイリンガー著『ブラームス—生涯と作品』（昭和二十七年二月、二十五日音楽之友社）、シユウアイツアー著『バッハ』全二冊（汗鹿）共譯、上・昭和二十年九月、下・二十二年十月、二十一年日岩波書店）等。著書に『音楽と思想』（昭和二十二年十一月、二十日岩波書店）、『音楽美入門』（昭和二十五年十一月、日岩波書店）、「岩波新書」）、『藝談』（公著・東京新聞社文化部編、昭和二十六年七月、日東社）、『音楽』（合著・堀内敏二編、昭和二十六年十月、二十日毎日新聞社「毎日ライブラリー」）、『音楽』（編、昭和二十九年九月、十八日岩波書店「岩波小辞典」）、『私の卒業論文』（合著・東京大学学生新聞会編、昭和二十一年十二月十五日同文館）、『音楽の旅—欧州・ソヴェト・中国』（昭和二十一年十一月、二十日岩波書店）、『音楽の歴史』（昭和二十二年十一月、二十日岩波書店「岩波新書」）、『孤独の対話—ベートーヴェンの会話』帖（昭和四十二年十一月、二十日岩波書店「岩波新書」）、『コグーとベートーヴェンの生涯』



( 第 一 卷 ) 第 一 章 第 一 節 第 一 項 第 一 目 第 一 條